

令和2年度 市民提案型まちづくり支援事業採択事業一覧

No	地区	新規 継続	団体名	事業名	事業概要
1	松任	新規	ボランティア団体 松任グッドエイジング推進会	伸ばそう健康寿命！ ポールと歩きましょう	「ポールウォーキング」の普及で健康寿命の延伸につなげるため、地域諸団体との連携、ふれあいサロンの訪問を通じて、体験会・講習会を開催する。生活習慣の改善効果により、100歳までしっかり食べ、しっかり歩ける人づくり、健康を共有する仲間とのつながりから明るいまちづくりを実践する。
2	笠間	継続 (2年 目)	歩恋う会かさま	わがまちを歩恋う 知ろうふるさとの歴史	超高齢社会に対応し、生涯健康で介護負担の軽減を図るため、ウォーキングや軽運動の実施により、地域住民の健康寿命の延伸を図ることを目的とする。今年度はマップを作成し、公民館と連携したウォークラリーや健康教室の開催と、ウォーキング広報紙の発行により、健康意識の醸成を図る。
3	宮保	新規	松任海岸清掃協力隊	松任の海岸保全に貢献	私たちの故郷の海岸清掃活動を、地域グループにより継続的に実施することで、環境保全の向上に貢献する。海岸清掃を通じて、子ども達からお年寄りまでの交流の場を創出し、コミュニティの繋がりを形成する。海岸清掃フローを明確にしたガイドブックの製作や動画を開発し、市民が主体的に海岸清掃を出来るように働きかけていく。
4	出城	新規	出城ゆ〜城倶楽部	「地域住民協働で創る ゆ〜城ネットワークの構築」	新しい住民や若年層相互の交流を図る様々なイベントを通じて横の繋がりを作るともに、子ども達や女性など幅広い層が参加できる環境をつくり、地域の担い手発掘と市民協働で創るまちづくりに繋げていく。
5	御手洗	新規	AI時代のための プログラミング会	ロボットのプログラミング教室 —御手洗地区ハッカー	地区の小学校が夢を持ってAI時代に成長するように、ロボットのプログラミング教室を開催する。指導は、地区の高齢者が勤務時代の経験を生かして、小学生と一緒に日常生活の課題を解決するプログラミングに取り組む。
6	林中	新規	林中まちづくり委員会	林中防災ボランティアによる 安心なまちづくり事業	地区内の災害弱者が安心して安全な生活が送れるよう、地区民の災害ボランティアにより災害の事前訓練を行い、被害の防止・軽減を図る。住民の防災意識の向上、地域のつながり・交流、子どもと大人の世代間交流を目指す。
7	林中	継続 (3年 目)	林なかかし地域おこし 実行委員会	かかしで林中の景観と伝統を 守る事業	農地と自然が溢れる稲作中心の純農村地帯において、昔懐かしい「かかし」で農村景観と伝統行事を守ることに、地域の活性化を目指す。行事での「かかし」の展示や、納涼夏祭りでの、田んぼの青鳥を追い払う農法「かかし」の展示と、田んぼの害虫を追い払う農法「虫送り」の虫送り太鼓の披露をタイアップで、地域全体で伝統継承を行っていく。
8	郷	継続 (3年 目)	東大寺領横江荘荘園まつり 実行委員会	東大寺領横江荘 荘園まつり	郷地区横江町にある国指定史跡「東大寺領横江荘遺跡」は2018年に東大寺に寄進され1200年の節目の年となった。郷土の歴史を再認識し、古き時代の文化を学ぶ機会ととらえ、今年も春から秋にかけて世代間交流による地域住民参加型の事業を行う。
9	山島	継続 (3年 目)	山島新しいまちづくりの会	山島 安心・安全まちづくり事業	山島地区の安心・安全なまちづくりのため、防災・防犯や高齢者や子ども達の見守りに関する事業を行う。住民の意識向上を図り、住民同士の助け合い精神の醸成することで、自助共助のまちづくりに寄与するとともに、住民ネットワークを構築することで、災害時の迅速な安全行動が期待できる。
10	千代野	継続 (3年 目)	千代野はいかい対策委員会	千代野認知症はいかい対策事業 高齢社会意識調査と分析	住民が高齢化社会についてどのような地域のあり方や環境・生活を望んでいるのか、全世帯アンケート調査を分析し、今以上に安全で安心して暮らすことができる方策を地域に提案する。次世代のあり方を検討し、千代野地区に住んでいる住民のすべてが安全で安心して暮らしていくことに、今後も住んで良かったと思えるような効果を期待したい。
11	千代野	新規	千代野GGOの会	千代野中央公園および 同周辺環境整備事業	多くの町民が集い、憩いの場でもある千代野中央公園とその周辺をきれいにし、千代野のまちづくりに務めることを目的とする。この活動を継続していくため、会員の士気高揚を図り、町民の広い参加意識を高めたい。また、樹木に対する関心と知識を高めるため、千代野小学校児童とともに樹木の名札を設置する。
12	加賀野	新規	加賀野地区自主 防災委員会	「加賀野地区・災害に負けない まちづくり」	加賀野で自分自身と愛する家族を守るため、今すべきことは何かを問い、防災意識の向上と住民が互いに協力して築き上げる、住んで安心暮らして楽しい災害に負けない強いまちづくりを目指す。最新情報を盛り込んだ地区防災マップ及び災害発生時緊急対応マニュアルの作成、避難訓練の「黄色いハンカチ作戦推進運動」の実施などを行う。
13	美川	継続 (2年 目)	美川御酒保存会	本吉北前船と祝い唄「御酒」、 ”本吉「帆柱起し」の唄”	美川地区は古く北前船で栄えた湊町で、「御酒」は北前船の乗組員により伝わっていた古謡である。北前船や「御酒」について現代向けにまとめた冊子「美川の祝い唄冊子」を作成、小学校での教材や市民教室などで活用し、地域の伝統に興味を持ってもらいたい。また、北前船のシンポジウムを開催することで、地域の知識向上に繋げたい。
14	一ノ宮	新規	一の宮桜の郷友の会	桜の植樹による一の宮地区 活性化事業	一ノ宮地区一帯を桜の名所とするため、桜を植栽し景観形成と魅力アップを図る。さらに、地区内の桜めぐりロードマップの作成と、腰掛設備の設置により、地区住民が集う場所となるとともに、地域外からの交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。
15	鶴来	継続 (3年 目)	こびとづかんの町つるぎ 実行委員会	こびとづかんの町つるぎ 町おこし	「こびとづかん」の作者なばたとしたか氏の地元鶴来で、観光客や子ども達が、こびとづかんの世界、自然や文化に親しみこびとの気配を感じられるように。またこの町の子も達とすべての人が町を誇りに感じられ、未来の子も達のため、夢が育む町を作っていく。
16	鶴来	継続 (2年 目)	鶴来ふるさと歴史研究会	新鶴来八景の発掘と伝承事業	鶴来地区の「新鶴来八景」の選定と、史跡や名勝を洗い出し、従前からの鶴来八景と共に地域の活性化と白山手取川ジオパークに合わせた豊かな自然・文化遺産の伝承に繋げていく。地区諸団体や学校、地域住民に周知を図るほか、観光ガイド「加賀白山ようござった」と連携を強化し、伝承を幅広く展開する。
17	吉野谷	継続 (2年 目)	白山瀨波の会	白山市天然記念物「桂の木」 散策道等の周辺環境整備及び 景観改善・周知	高齢化と人口流出が進む瀨波地区において、地域の最大資源である有用な自然を生かした地域活性化事業を行う。自然遺産を活用した環境整備活動を通じ、地域への交流人口の拡大と、元気で住みよい魅力ある地域づくりを目指している。今年度は、白山市天然記念物「桂の木」周辺環境整備を行う。
18	白峰	新規	特定非営利活動法人 白山しらみね自然学校	白峰移住あるある支援事業	白峰地区の移住者等が地域コミュニティに溶け込むことへの支援や、移住促進を目的に地域特有の慣習や文化、方言、地域情報や生活便利情報、移住支援情報を盛り込んだガイドブックを制作する。このことにより、地域コミュニティ弱体化の防止、地域への移住促進、空き屋の利活用による重伝建の魅力維持が期待される。